

個別の教育支援計画(ひやまModel)

1 個別の教育支援計画「ひやまModel」の構成

- ①フェイスシート
- ②支援マップ（関係機関との連携）
- ③相談・支援の記録
- ④教育的な配慮と支援の目標
 - ・『育ちの手帳』（乳幼児期版）
 - ・『学びの手帳』（小学校版）
- ⑤マイキャリアプラン
 - ・『キャリアプランニング・マトリックスを活用して』（中学校・高等学校版）

2 活用にあたって

※このファイルを幼稚園・保育所から高等学校等及び就労先まで引継ぎ、関係機関との連携の状況、学校での指導の記録を蓄積することで、継続的な支援計画とする。また、このファイルの利用により、一人の子どもを幅広い視野の多くの目で見守って育てていくためのツールとする。

※個別の教育支援計画の作成にあたっては、保護者の了解を得るとともに、同様のものを保護者に提供し、共有化を図る。

〈幼稚園・保育所における活用例〉

- ・①に本人の記録を記入する。
- ・②に相談・支援機関名やその内容等を記入する。あわせて、資料や検査結果等などについても可能な限り綴じるようにする。
- ・③に幼児の相談・支援機関名等を記入する。
- ・④は、【別表1】「乳幼児・児童・生徒のキャリアプランニング・マトリックス」の小学校を参考に記入する。

（合理的配慮については、【別表2】『「合理的配慮」の提供として考えられる事項』を参照して記入するとともに、年度ごとに1枚ずつ作成し、加えていく。）

☆ 幼児が入学する小学校へ一式を引き継ぐ。

〈小学校における活用例〉

☆ 幼稚園・保育所から個別の教育支援計画を引き継ぐ。

- ・ ①～③の必要箇所に加筆する。(必要に応じて、シートを加える)
- ・ ④は、【別表1】「乳幼児・児童・生徒のキャリアプランニング・マトリックス」の小学校を参考に記入する。

(合理的配慮については、【別表2】『「合理的配慮」の提供として考えられる事項』を参照して記入するとともに、年度ごとに1枚ずつ作成し、加えていく。)

☆ 児童が入学する中学校へ一式を引き継ぐ。

☆ 小学校で新たに作成する際には、幼稚園・保育所等と情報交換をする。

〈中学校における活用例〉

☆ 小学校から個別の教育支援計画を引き継ぐ。

- ・ ①～③の必要箇所に加筆する。(必要に応じて、シートを加える)
- ・ ⑤は、【別表1】「乳幼児・児童・生徒のキャリアプランニング・マトリックス」の中学校を参考に記入する。

(合理的配慮については、【別表2】『「合理的配慮」の提供として考えられる事項』を参照して記入するとともに、年度ごとに1枚ずつ作成し、加えていく。)

☆ 生徒が入学する高等学校へ一式を引き継ぐ。

☆ 中学校で新たに作成する際には、小学校と情報交換をする。

〈高等学校における活用例〉

☆ 中学校から個別の教育支援計画を引き継ぐ。

- ・ ①～③の必要箇所に加筆する。(必要に応じて、シートを加える)
- ・ ⑤は、【別表1】「乳幼児・児童・生徒のキャリアプランニング・マトリックス」の高等学校を参考に記入する。

(合理的配慮については、【別表2】『「合理的配慮」の提供として考えられる事項』を参照して記入するとともに、年度ごとに1枚ずつ作成し、加えていく。)

☆ 卒業段階において、生徒の就労先へ一式引き継ぐ。

☆ 高等学校で新たに作成する際には、中学校と情報交換をする。